

保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい。

形名	高速切断機 HC-355		※お買い上げ日	保証期間
			平成 年 月 日	1年
※お客様	ご住所	〒		
	ご芳名			
	電話	()		
※販売店	住所名	☎ ()		

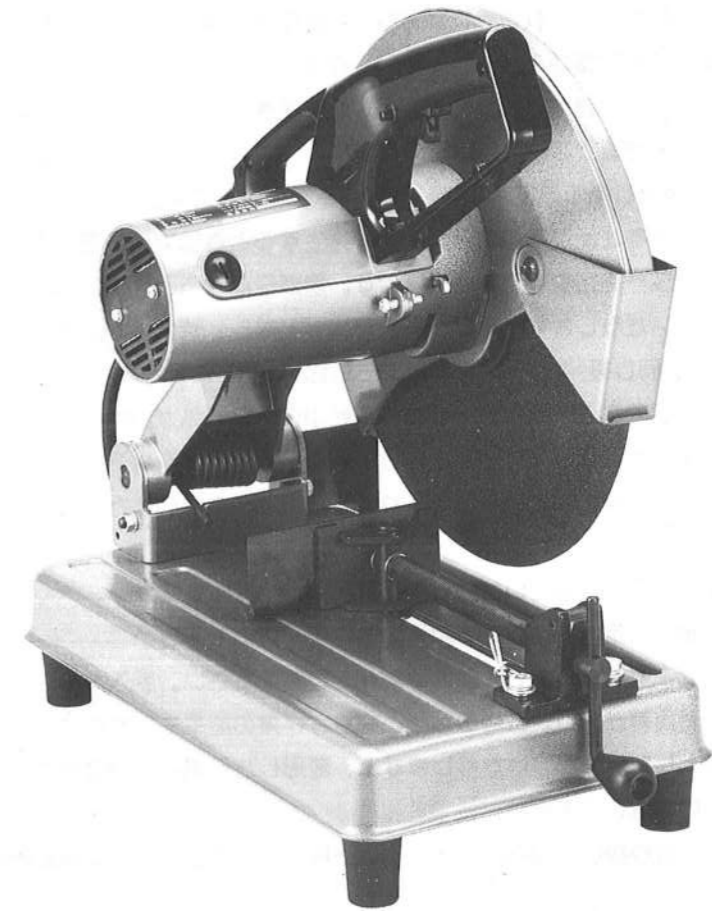
※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - ①使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - ②お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
 - ③火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
 - ④車両、船舶にとう載して使用された場合に生じた故障または損傷。
 - ⑤本書のご提示がない場合。
 - ⑥本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には株式会社新興製作所までご相談下さい。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

株式会社
SHINKO 新興製作所 東京都千代田区神田東松下町11番地
郵便番号101 電話 東京03(3252)8861(代)

CUT-OFF SAW 高速切断機 HC-355 取扱説明書

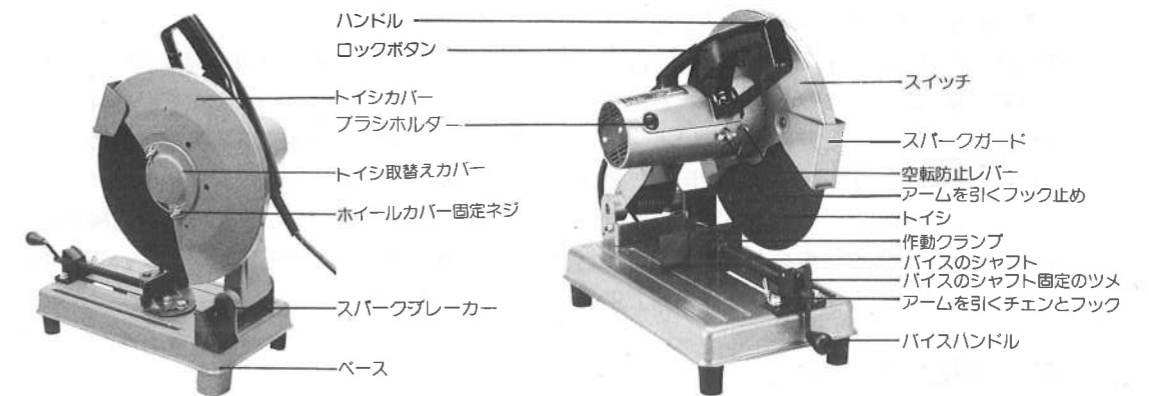


このたびは、高速切断機をお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用に際しては、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用下さい。
お読みになった後は、必ず保存して下さい。

■電動工具ご使用についてのご注意

- 使用電源は必ず銘板に表示してある電圧でご使用下さい。100V用のものを間違えて200V電源に接続して使用しますと、モーターの回転が異常に高速となり、機体が破損するおそれがあり危険です。
- 湿った場所、ぬれた場所、機体の内部に水や油などの入りやすい場所では使用しないで下さい。
- 感電防止のため、漏電遮断器が設置されていることを確認して下さい。設置されていない場合は、二重絶縁品を除き必ず正しい接地(アース)をして下さい。
- 引火、爆発の恐れのある物質(ラッカー、シンナー、ペイント、ガソリン、ガス等)のある場所では危険ですから絶対に使用しないで下さい。
- 作業する場所には作業関係者以外は近づけないで下さい。作業の前に作業場所を確認してから作業を開始して下さい。
- 無理な姿勢で作業をしないで下さい。常に足場に注意し、安定した姿勢で作業して下さい。
- 作業はきちんとした服装で作業をして下さい。ネクタイをつけたり、袖口を開いたまま作業をしますと、回転物に巻き込まれる恐れがあり、大変危険です。
- 作業場所、作業台は常に整理をし、明るくして作業をして下さい。
- 電源コードをつかんで本機を運んだり、スイッチに手をかけて運んだりしないで下さい。又、電源コードの上に物を置かないで下さい。
(注) コード線が損傷したら、すぐに新しいコードと交換して下さい。
- 作業中は保護メガネをご使用下さい。又、埃が発生するときはマスクをご使用下さい。
- 機体の風窓はモーターを冷やすために必要です。埃が飛ぶからと言って風窓をふさがないで下さい。もし、ふさいだりしますとモーターの温度が上昇し、焼損の原因となります。
- 工具(スパナ、ネジ回し等)は運転前に本機から取除いて下さい。
- 運転中は絶対に回転部にふれないで下さい。運転中に異常に気がついたとき、点検、修理、先端工具の交換等のときは必ずスイッチを切り、差し込みプラグを電源から抜いて下さい。
- 作業が終了したら、埃を取り除き、手入れをしてお子様の手のとどかない、湿気の少ない場所に保管して下さい。
- 常に安全に能率よくご使用していただくため、定期点検をして下さい。
- 本機は取扱説明書に指定された以外の用途には使用しないで下さい。
- 先端の取付工具はよく手入れをして、よい条件でご使用下さい。手入れの悪いものを使用しますとモーターが過負荷となり、故障の原因となり、作業の能率もあがりません。
- 本機を誤って落としたり、ぶつけたりしますと、変形したり亀裂や損傷を生じることがありますので、取扱いに注意して下さい。
- 本機をお子様など取り扱いを知らない人、正しい操作が出来ない人には絶対使用させないで下さい。
- 本機の部品を交換する場合は、必ず指定された純正部品をお使い下さい。修理はお買求めの販売店または、当社にお申しつけ下さい。
- 工場または事業所で使用する場合、各都道府県等の条例で定められた騒音規制値以下でご使用になることが必要です。必要に応じ防音屏を設け周囲に迷惑をかけないようにご使用下さい。

■部品の名称



■仕様明細

形 式	HC-355
定 格 電 圧	100V
周 波 数	50/60Hz
定格消費電力	1,450W
定 格 電 流	15A
無負荷回転数	3,800RPM
トイシの寸法	外径355×厚3.0×内径25.4mm
バイスの中	1段=0~170 2段=35~200 3段=70~235mm
最大切断径	最大切断径120mm
コードの長さ	2.0mm ² ×3芯3.8mアースクリップ付
外 径 寸 法	W520×D270×H460

※本製品は改良のため、一部仕様を変更する場合があります。

■付属部品

スパナ 1本

■高速切断機ご使用についてのご注意

- スイッチを入れる前にトイシのヒビ割れ、ヒズミ、横振れ、破損等の確認をして下さい。万一破損等を発見しましたら、危険ですので新しいトイシと交換してご使用下さい。
- ご使用前に必ず試運転をして下さい。トイシを交換したときは3分以上。通常の作業開始前は1分程度の試運転を心掛けて下さい。
- 切断する材料をバイスで正確に固定してから、切断して下さい。手で材料を押えたり、足を使って切断したりしますと、ねじれが生じトイシが破損して思わぬ事故の原因となります。
- 切断時は無理な力で押しすぎないようにして下さい。負荷がかかり過ぎ本機故障の原因ともなります。又、トイシの側面を使用したりする作業は特に危険です。
- トイシが回転中は、すぐ後方には立たないで下さい。特に作業員以外の人の接近は危険です。
- ご使用前に取扱説明書をよくお読みいただき安全な使用を常に心がけて下さい。又、使用中に不具合な点など発生しましたらお買上店、または当社にご連絡下さい。

■ご使用になる前に

- 本機は工場から出荷する際に、検査をしておりますが、念のためトイシの破損、ネジ、ナット類の締付等を点検して下さい。
- 使用の電源は100V、延長コードを使用する場合は電線の太さは2.0mm²で15m以内でご使用下さい。(注)電圧が15A以下に降下していると、回転しない事があります。
- 漏電遮断機が設置されているか確認をして下さい。又、プラグのアースクリップをアースに接続して下さい。
- 本機の使用及び据付ける時は水平で安定した場所を選定して下さい。切断時に切屑や火ばなが飛散しますので、本機の回りに引火性の物は置かないで下さい。
 - 本機を持ち運ぶ時はベースについているアームを引くチェーンの先のフックをホイールカバーのフック止めにかけて下さい。ハンドルを持って運べます。
- スイッチを押している間は、トイシが回転しています。この時、ロックボタンを押しますと連続運転状態となり、スイッチを離してもトイシは回転したままです。再度スイッチを引きますとロックは開除され、運転は停止します。

■クイックバイスのクランプについて

●通常のクランプ方法

- ①バイスのシャフト固定のツメの手前を押えて、シャフトが空転するようにして下さい。そして、シャフトを手前に引いて材料をセットし、シャフト止めをネジにかみ合わせて、シャフトハンドルを回すと締まります。(注)材料は正確に強く締め付けて下さい。
- ②材料を取り外すときは、ハンドルを左回りに2～3回まわせばはずれます。(図2参照)

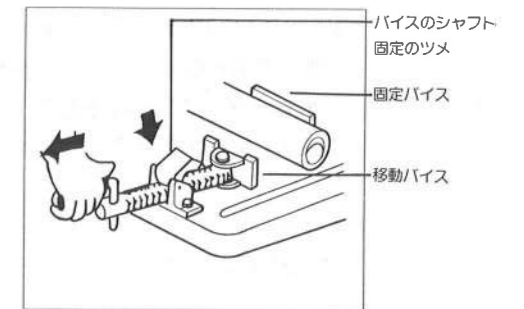


図2

●3段バイスのクランプ法

- ①材料の寸法により、固定バイスを移動する事によって、よりよい切断作業ができます。(図3参照)
- ②固定クランプの移動とクランプの開き巾

右図Aの開き巾は	0～170mm
// B //	35～200mm
// C //	70～235mm

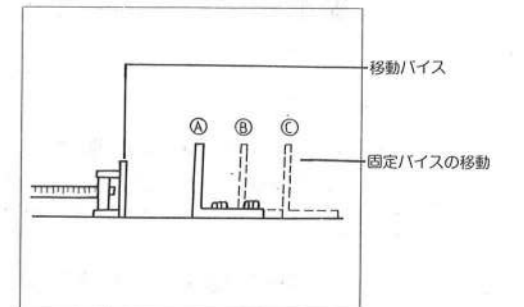


図3

■角度切りについて

- 定規の蝶ネジをゆるめると定規は0～45°までの範囲で角度が調整できます。目盛に合わせて作業して下さい。(図4参照)

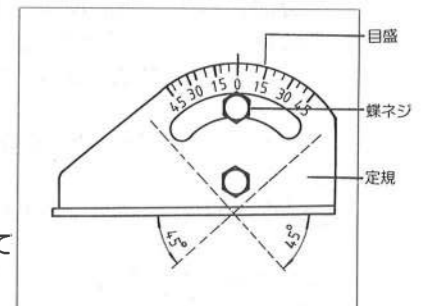


図4

■トイシの取り付け取りはずしについて

- トイシ取替えカバーの蝶ボルトをゆるめて、カバーを移動して下さい。本体上部の空転防止レバーを下に押しすと回転が止まるところがあります。レバーを押したまま、専用スパナでトイシ押えナットをゆるめ交換します。セットする時も空転防止レバーを押したまま完全に締め付けて下さい。(図5参照)

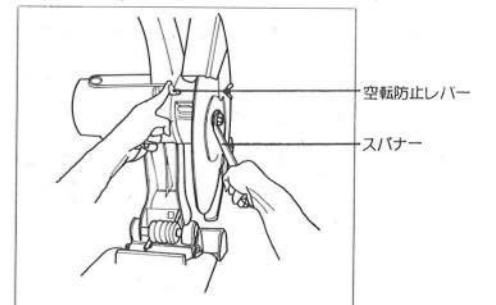


図5

■ご使用方法

- 材料をバイスで正確に、しっかり固定して下さい。
- スイッチを入れ、正常な回転を確認してから除々に力を加えるようにして下さい。いきなり力を入れるような乱暴な使用は機械の故障の原因となるばかりでなく、非常に危険です。

■カーボンブラシの点検と交換

- カーボンブラシの長さが6mm以下になったら、新しいものと交換して下さい。(注)カーボンブラシを6mm以下でご使用になりますと、故障の原因となります。
 - カーボンブラシは下記のものをご使用下さい。
寸法 7 × 17 × 長さ 17 mm
- 交換方法は、ブラシホルダーのキャップをドライバーではずして抜きとり、点検・交換して下さい。又、カーボンブラシの交換は両方を同時に行なって下さい。

■故障のときのチェックと修理

	原因	処理方法
モーターが回転しない	①電源コードの切断 ②スイッチの故障 ③モーターの故障	①電源コードを交換 ②スイッチを交換 ③モーターを交換
切断時に振動が大きい	①砥石のヒズミ、フレ ②砥石が正確にセットされていない。	①砥石を新しいものと交換 ②砥石を正確にセットし直す。
切断時に力が弱い	①砥石の取付不完全でゆるいため、砥石がずべている。 ②延長コードが細いか長すぎる。 ③モーターの故障	①正確に強く締めつけ直す。 ②延長コードの長さをできるだけ短くする(15m以内)。太さを2.0mm以上を使う。 ③修理
モーターの過熱	①切断時の押し過ぎによる過負荷状態	①無理な力を入れず、スムーズに。

注 上記の点検、修理で正常に回転しない時は、販売店または当社までご連絡下さい。

注 ハンドルを無理に押えて使用しますとモーターに過負荷がかかり、切断能力が低下し、モーターの焼損、トイシの割れ等の事故につながります。

- 切断が終わりましたら、ハンドルを持ち上げ、スイッチを切って下さい。
材料を取るときは、本機のトイシが完全に回転停止状態になってからにして下さい。又ご使用にならないときは、電源プラグは抜いておいて下さい。